

◆ 今週のコメント

- ・ **アメーバ赤痢**(腸管アメーバ症)の報告が1例(10歳代女性)(第7週追加報告分)ありました。症状は下痢, しぶり腹, 腹痛, 発熱です。感染地域は国外, 感染経路は経口感染です。本年初めての報告です。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は京都市では5.28(364例)となり, 前週の6.36(439例)から減少しました。徐々に報告数は減ってきましたが, 今後も体調管理に注意し, 手洗いやうがいの励行, 咳エチケットなど予防をして下さい。インフルエンザの発生状況や予防対策については, 下記URLを御参照ください。
 - インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
 - 京都市こどもの感染症(令和2年2月号)「てあらいでインフルエンザを予防」(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>
 - インフルエンザの発生状況について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>
- ・ **新型コロナウイルス感染症**については, 下記のような手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策に努めていただくことが重要です。

- ・まめに手を洗いましょう。石鹸を使い, 流水でよくすすぎましょう。
- ・新型コロナウイルスに限らず, 病原体は主に口・鼻・目から体に入ります。外出後や咳の後は特に, 口・鼻・目に触る前に手洗いを徹底しましょう。
- ・咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆うなど, 咳エチケットを守りましょう。急に咳が出てしまう時は, しぶきが飛ばないように服の袖や肘を使いましょう。周りの人への感染を予防するため, マスクを着用しましょう。
- ・人が多く集まる場所は, なるべく避けましょう。

詳細については, 下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「【緊急情報】新型コロナウイルス関連のお知らせ」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000263411.html>

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2.14(92例)となり, 前週の1.93(83例)から増加しました。全国では2.99となり, 京都市及び全国ともに過去5年平均値を上回って推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 なし(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 38例(肺結核 20例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 16例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- ・ 五類: **アメーバ赤痢 1例**【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

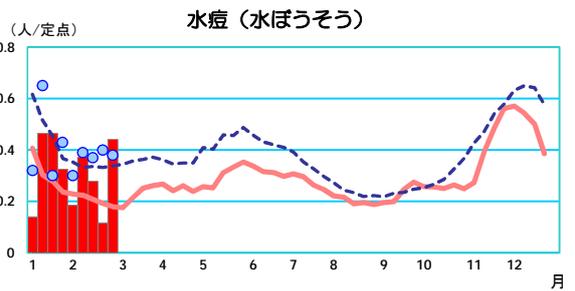
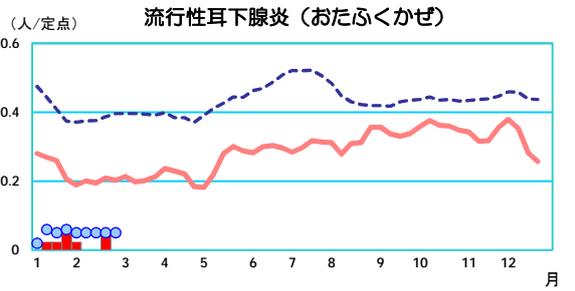
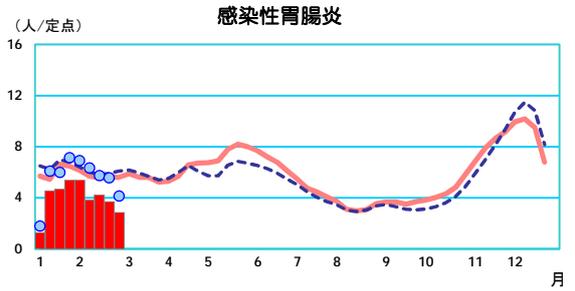
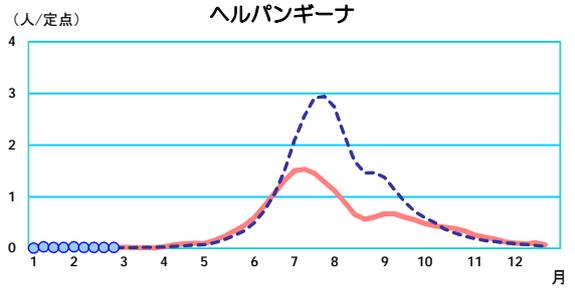
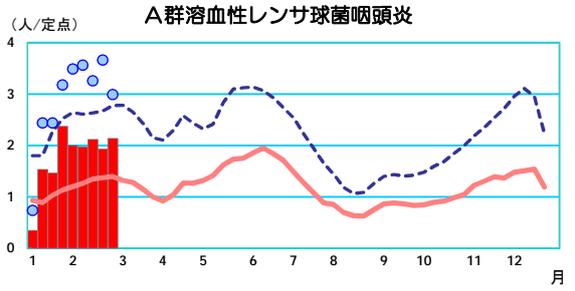
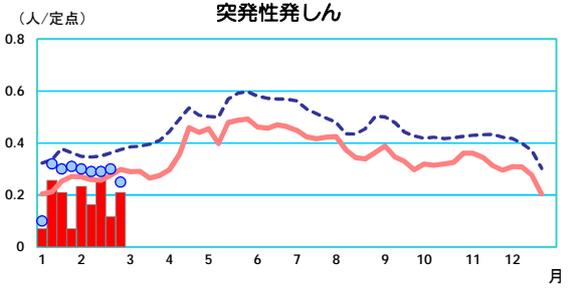
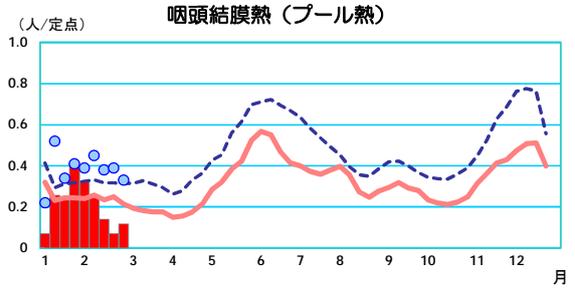
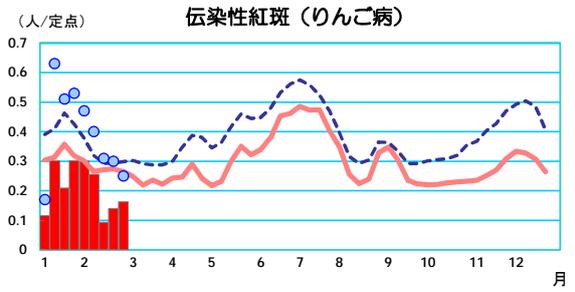
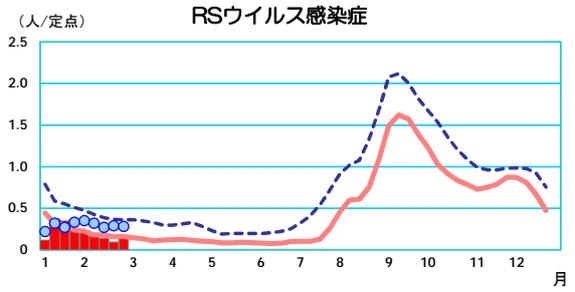
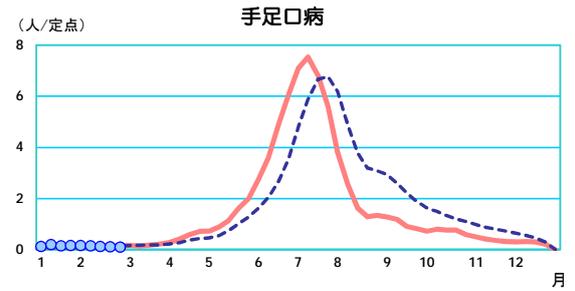
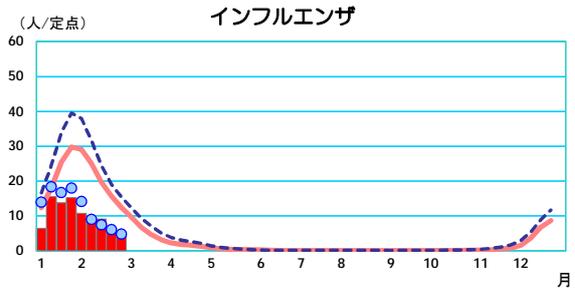
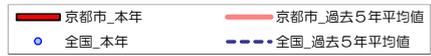
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	5.28	364
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.86	123
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.14	92
	③ 水痘	0.44	19
	④ 突発性発しん	0.21	9
	⑤ RSウイルス感染症	0.16	7
	⑤ 伝染性紅斑	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

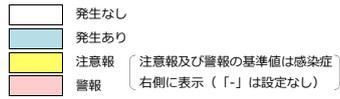
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2020年3月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

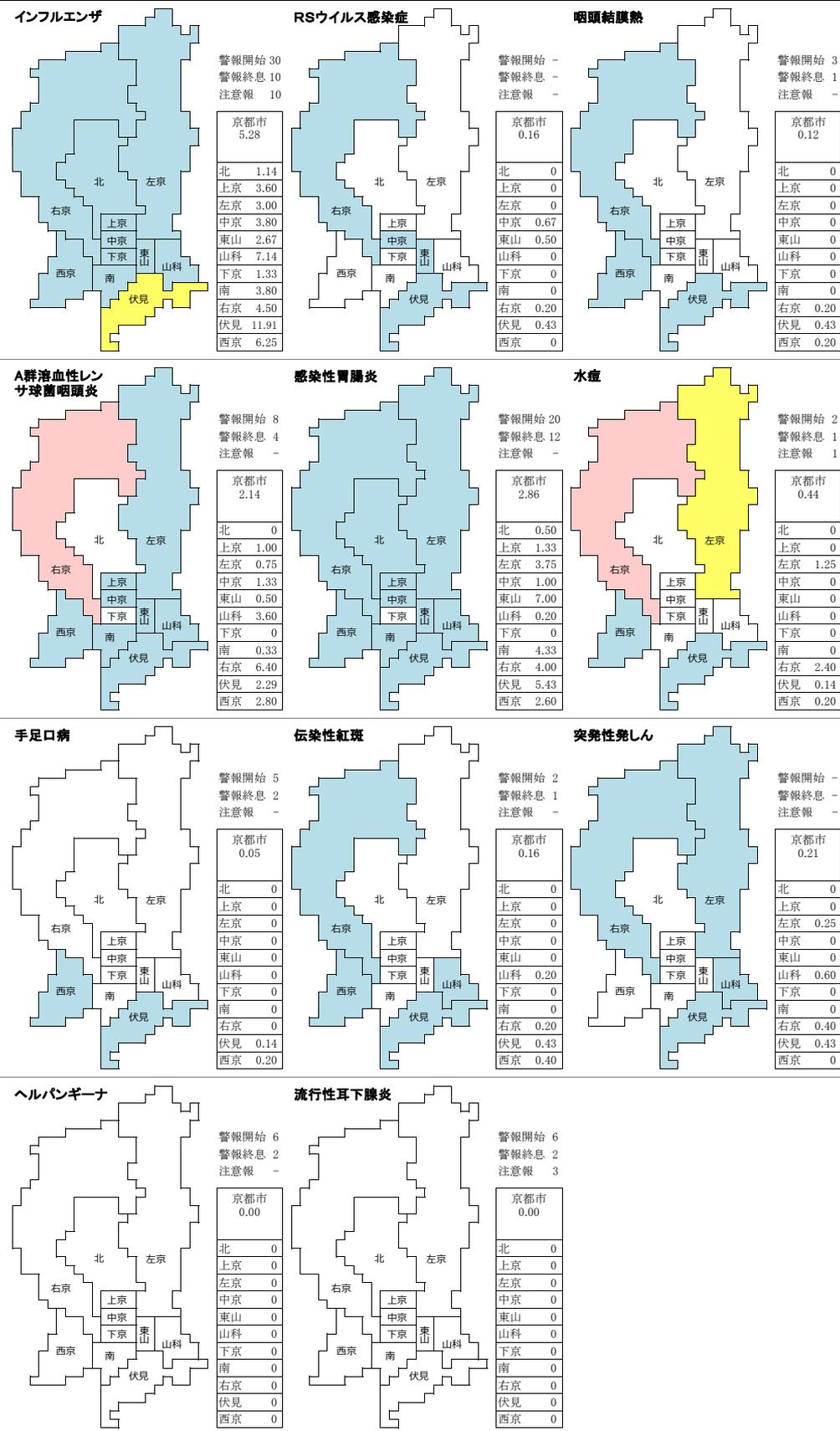
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第9週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第9週(2月24日～3月1日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2.14(92例)となり、前週の1.93(83例)から増加しました。全国では2.99となり、京都市及び全国ともに過去5年平均値を上回って推移しています。過去5年間のデータから算出した流行閾値(それ以上報告数が増えたら確率的に非常に高いと考えられる値)と、本年の推移を比較すると、京都市では第4週から第7週に、全国では第6週及び第8週に流行閾値を超えており、この時期としては高い値で推移していると考えられます(図1)。

過去の同時期と本年を比較すると、2016年を除き、本年が高い値となっています。警報レベル「8」に至るほど大流行した年はありませんが、年周期的には、3月下旬から4月上旬に一旦報告数が減り、その後6月頃に再び流行がみられます。本年は、この時期としては報告が多いことに加え、例年は初夏に流行期をむかえるため、今後の動向に注意が必要です(図2)。

本疾患は、一般には溶連菌感染症と呼ばれており、A群溶血性レンサ球菌が原因で引き起こされる感染症です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感を発症し、しばしば嘔吐を伴います。舌にいちご状の発赤(いちご舌)や発熱から12～24時間後に皮膚に赤い発疹が現れることがあります。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を生じる場合もあります。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによって感染する「飛沫感染」と、手指を介して感染する「接触感染」です。1歳から9歳の感染が約8割を占めることから、幼稚園、保育所あるいは学校など、集団内での感染も注意が必要です。手洗いなどが感染に対する一番の予防となります。症状がある人とは密接な接触を避けましょう。また、治療に抗菌薬が用いられます。合併症予防のためにも、処方された抗菌薬は最後までのみ切りましょう。

図1 京都市(左グラフ)及び全国(右グラフ)の定点当たり報告数の推移

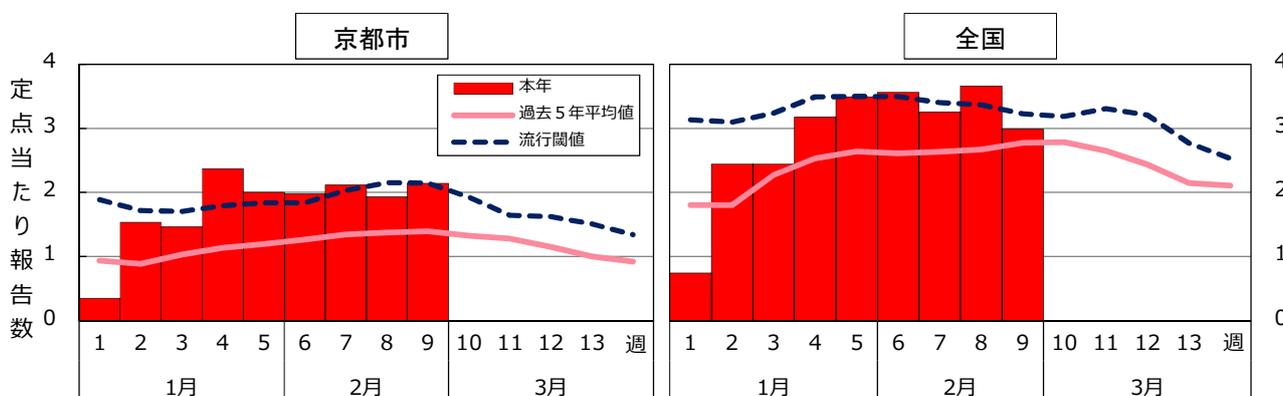
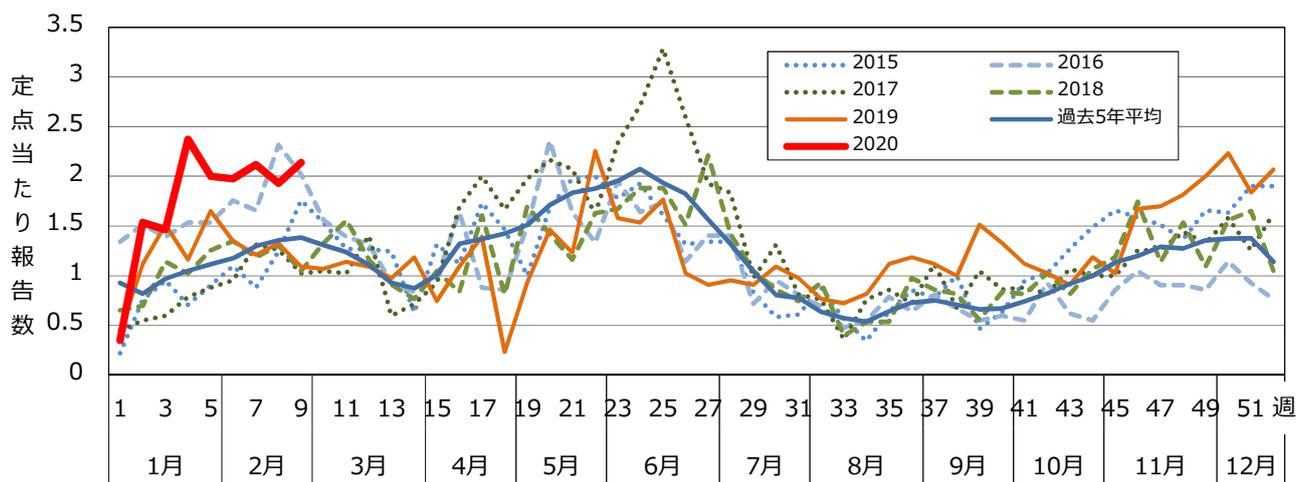


図2 本市の過去5年間の報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第9週

疾病,行政区別報告数

2019年2月24日～2019年3月1日

データ入手日:2020年3月4日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	8	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	18	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	21	-	-	3	15	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	19	2	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	8	1	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	50	-	-	18	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	19	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	36	1	1	32	20	12	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	131	3	3	16	38	1	1	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	50	-	1	14	13	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	364	7	5	92	123	19	2	7	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1.14	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	3.60	-	-	1.00	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	3.00	-	-	0.75	3.75	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	3.80	0.67	-	1.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.67	0.50	-	0.50	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	7.14	-	-	3.60	0.20	-	-	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	3.80	-	-	0.33	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	4.50	0.20	0.20	6.40	4.00	2.40	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	11.91	0.43	0.43	2.29	5.43	0.14	0.14	0.43	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	6.25	-	0.20	2.80	2.60	0.20	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	5.28	0.16	0.12	2.14	2.86	0.44	0.05	0.16	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年2月24日～2019年3月1日

データ入手日:2020年3月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	364	-	2	3	8	15	23	39	35	40	30	14	100	16	12	14	5	6	2	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	7	3	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		5	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		92	1	2	4	2	15	12	8	9	13	2	5	9	1	9	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		123	-	7	20	12	9	10	16	7	10	3	-	11	1	17	-	-	-	-	-	-	-
水痘		19	-	-	1	1	2	2	5	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		7	-	-	-	1	-	1	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	5.28	-	0.03	0.04	0.12	0.22	0.33	0.57	0.51	0.58	0.43	0.20	1.45	0.23	0.17	0.20	0.07	0.09	0.03	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	0.07	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.12	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.14	0.02	0.05	0.09	0.05	0.35	0.28	0.19	0.21	0.30	0.05	0.12	0.21	0.02	0.21	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.86	-	0.16	0.47	0.28	0.21	0.23	0.37	0.16	0.23	0.07	-	0.26	0.02	0.40	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.44	-	-	0.02	0.02	0.05	0.05	0.12	0.07	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.16	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.12	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年3月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1,052	744	615	628	439	364
RSウイルス感染症	10	10	7	6	4	7
咽頭結膜熱	17	14	11	6	3	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	102	86	85	91	83	92
感染性胃腸炎	231	231	165	182	159	123
水痘	14	8	16	12	5	19
手足口病	1	2	2	3	1	2
伝染性紅斑	13	13	11	4	6	7
突発性発しん	3	10	7	11	5	9
ヘルパンギーナ	1	1	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	1	-	-	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	2	1	-	1	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	1	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,451	1,122	922	943	709	628

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	15.25	10.78	8.91	9.10	6.36	5.28
RSウイルス感染症	0.23	0.23	0.16	0.14	0.09	0.16
咽頭結膜熱	0.40	0.33	0.26	0.14	0.07	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.37	2.00	1.98	2.12	1.93	2.14
感染性胃腸炎	5.37	5.37	3.84	4.23	3.70	2.86
水痘	0.33	0.19	0.37	0.28	0.12	0.44
手足口病	0.02	0.05	0.05	0.07	0.02	0.05
伝染性紅斑	0.30	0.30	0.26	0.09	0.14	0.16
突発性発しん	0.07	0.23	0.16	0.26	0.12	0.21
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	-	-	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.20	0.10	-	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	1.00	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	24.91	19.73	17.11	16.43	13.69	11.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。